

□令和7年度スローガン

笑顔あふれる

「み」みつけよう夢を

「た」高めよう志へ／助け合おう友と

「ち」知恵と

「や」やる気と

「ま」真心で

【ガンバル御館っ子】

学校内外で、様々な分野で頑張っている御館っ子を紹介するこのコーナー…。普段は運動系が中心ですが、今回は、ひと味違った頑張りの情報が届きましたのでお知らせします。

今回の「ガンバル御館っ子」は、**5年生の道越芳悠さん**です。芳悠さんは、夏休みにミクロネシア諸島自然交流事業に参加し、日本とミクロネシアの友好親善に貢献しました。

日程は、7月28日～8月6日までの、何と9泊10日。全国から参加した小中学生とそれを支えるリーダー（高校生以上）が一緒に行動します。

東京(成田)出発で、グアムを経由してミクロネシアに移動。地元の小学生とのスポーツ交流や島の文化や自然に触れる活動、また、1泊2日のホームステイなどを通して、異文化を学んだり、自然との共存等について学んだり、素晴らしい体験をしたようです。

芳悠さんに、この交流を通して一番感じた事(ミクロネシアと日本との違い)を尋ねると…、

家族の繋がりの深さを感じました。何をするにも家族と一緒に協力すること…。例えば食事を作るときも家族みんなで行っていました。子どもたちも、準備を手伝うなどを当たり前にしていました。

とのこと…。

それを見て自分自身が変わったことある？と尋ねてみると、

妹と遊ぶときに、これまではけんかになることが多かったけど、優しい言葉で接することを心がけるようになったことかな…？

と答えた芳悠さん。

また、高校生になったら、是非リーダーという形で支援に回りたいとの夢も語った芳悠さん。

人生の大きな目標にも繋がる素晴らしい体験ができた夏休みでしたね。

令和7年度『挑戦の2学期』スタートです！

長かった夏休みを終え、子どもたちが、元気な挨拶と共に学校に戻ってきました。朝、子どもたちの顔を見ると、ニコニコした顔から眠そうな顔まで様々ですが、子どもたちの賑やかな声があつてこそその学校だなあと、改めて嬉しく感じた朝でした。

また、子どもたちには始業式でも紹介したのですが、始業式の朝、ちょっと嬉しい姿が見られましたので紹介します。

9月1日の朝、3年生に子どもさんがおられるお父さんが、「水筒を忘れたので届けに来ました。」と来校されました。「教室まで行かれて結構ですので、届けてください。」とお声掛けしましたが、「何組だか、ちょっと分からなくて…。」とのお返事。その会話が聞こえたのでしょうか。登校中で、ちょうど近くを通りかかった**6年生の男子**が、「あつ、僕分かりますよ。届けましょうか？」と申し出て、そのまま教室まで届けてくれたのです。自分の周りの困っている人に気づいたときに、「僕が変わってあげられる。」と判断し、すぐさま行動する…。今年の御館山小のテーマの一つでもある**『何が出来る？ どう動く？』**を、日常の中のさりげない場面で実行できる姿を見て、嬉しさと共に、頼もしさを感じました。

そんな嬉しい朝からスタートした9月1日ですが、**始業式**は、熱中症及び感染症への対策として、校長室からのオンライン配信で行いました。このオンライン配信での私の密かな楽しみが、子どもたちの元気な挨拶です。子どもたちは勿論各教室で聞くの視聴であり、挨拶は校長室と教室での間接的なものなのですが、子どもたちの挨拶が、直接校長室まで響いてくるのです。先にも書きましたが、やはり子どもたちの元気さが、学校に明るさと活気をもたらしてくれます。

さてさて、その始業式では子どもたちと共に2学期のテーマを伝えました。

それがこの記事の表題にもある**『挑戦の2学期』**です。

簡単に説明しますと、**この2学期は、子どもたち一人一人が、自分自身の長所や短所と向き合い、『苦手なこと』からも逃げずに挑戦し克服する努力をする。『得意なこと』にはさらに積極的に取り組み自信を深め長所を伸ばす。**

そんな2学期にしてほしいと考えています。

2学期は、特に行事が多い学期です。その一つ一つの行事にも、また普段の授業にでも、何となく取り組み消化するのではなく、子どもたち一人一人が自分と向き合いながら目標を設定し、自分を高めていける…そんな2学期にしていきたいと思っています。

2学期も、どうぞ宜しくお願いいたします(*^o^*)

2学期の始業式には児童を代表して4年生の4人が「2学期の抱負」を発表しました。前号までに紹介した「1学期の振り返り」に負けず劣らず、みんな素晴らしい発表をしましたので、次号と次々号で紹介します。お楽しみにお待ち下さい。

『挑戦の2学期』

今日の瞬間から

得意なことを伸ばそう

やりたい自分であるために

苦手なことに立ち向かおう

なりたい自分になるために